

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 25日

事業所名 児童発達支援 わおん

有効回答者数 7名

|         |   | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標  |
|---------|---|---|----|-----|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  | 6  | 1   | ・10人を受け入れるスペースは確保できていないため事業の内容を時間差をつけて取り組んでいる。そのため職員の業務にあてる時間の確保が難しい。（準備・勉強など） | 生活（食事など）スペースと活動スペースの住み分けをパーテーションを使い行っているため、広さに限りはある。<br>近隣の公園や公共施設を活用し、活動の幅を広げる工夫を継続する。 |
|         | 2 | 職員の配置数は適切であるか   | 6  | 1   |  | ・心理など専門職の確保が必要。   |
|         | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか            | 7  | 0   |  | 今後も継続する。<br>・今後もより配慮する点を考えていく。  |
|         | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 6  | 1   | ・活動室と食事をするスペースは分けている。<br>・トイレの数が少ない。   | ・トイレについておまるを置くスペースの確保も難しく、現状改善が難しい。   |
| 業務改善    | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか  | 4  | 3   | ・職員が話し合う時間が作りにくい状況。<br>・支援内容については毎回目標設定と振り返りをしているがその他の業務についてはできていない。           | 一日のスケジュール・記録方法等の見直しを行い目標設定と振り返りを適切に行う。<br>会議の時間を計画的に確保する。時間の管理を行い（タイマー使用など）時間を有効活用する。   |
|         | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか                              | 7  | 0   | ・今年度は家族支援として昨年できなかった保護者会やおしゃべり会を開催したが未だ不十分と反省している。                             | 支援の内容、職員の資質についてのご指摘は真摯に受け止め職員の連携、学びの機会の確保など業務改善を行う。                                     |
|         | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 7  | 0   |  |   |
|         | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか   | 0  | 7   |  | 第三者委員の検討及び外部の方からの意見を取り入れていく。  |
|         | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | 7  | 0   | ・研修の情報を掲示、スタッフ間で検討して参加をすすめている。   | 今後も継続する。  |

|                  |    | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標                      |
|------------------|----|---|----|-----|--|---|
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | 6  | 1   |  | ・浜松市のアセスメントシートに落としこむなど客観的な分析が不十分。勉強会などに参加し活用に努める。 |
|                  | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | 5  | 2   |  | 今後も継続するとともに、浜松市のアセスメントツールの活用も試みる。                 |
|                  | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 7  | 0   | ・今年度より少しずつではあるが、併行通園する園との連携を保護者の依頼を受け、直接行う取り組みを支援計画に設定して行った。 | 今後も継続する。  |
|                  | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 7  | 0   |  | 今後も継続する。  |
|                  | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | 7  | 0   |  | 振り返りを継続するとともに、職員間で不安や課題を共有して次の取り組みに活かす。           |
|                  | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか   | 7  | 0   |  | 今後も継続する。  |
|                  | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか   | 7  | 0   |  | 今後も継続する。  |

|                        |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標               |
|------------------------|----|--|----|-----|--|--|
|                        | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                                  | 7  | 0   |  | ツールの活用方法には今後も改善する必要がある。                |
|                        | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                             | 7  | 0   |  | 一日のスケジュール・記録方法等の見直しを行い目標設定と振り返りを適切に行う。 |
|                        | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか  | 7  | 0   |  | 今後も継続する。                               |
|                        | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか   | 7  | 0   |  | 一日のスケジュール・記録方法等の見直しを行い目標設定と振り返りを適切に行う。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                               | 7  | 0   | ・サービス担当者会議への参加を求められることが少ない。モニタリングとして見学に来所、電話での確認において情報共有が多い。 | 今後も継続するとともに、保育士等も参加できるよう調整を行う。         |
|                        | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか   | 7  | 0   |  | 今後も継続する。                               |
|                        | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | /  | /   |  |  |
|                        | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか             | /  | /   |  |  |
|                        | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                   | 6  | 1   | ・併行通園している園の訪問、支援の共有を行っているが移行支援となるケースは今年度ない。                  | 今後も継続する。                               |
|                        | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                               | 7  | 0   | ・サポートかけはしシートの作成・共有を行っている。                                    | 今後も継続する。                               |
|                        | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                        | 6  | 1   | ・事業所連絡会に参加し研修・ケース検討に参加している。                                  | 今後も継続する。                               |
|                        | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか   | 2  | 5   | ・地域の公園にての交流はあり。  | 併行通園での利用児に対し、就園先での困り感に対する支援を今後も継続する。   |
|                        | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか   | 6  | 1   | ・旧東区の協議会に可能な限り参加している   | 今後も継続する。                               |

|    |    | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標  |
|----|----|---|----|-----|---|---|
| 連携 | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか   | 7  | 0   |   | 今後も継続する。  |
|    | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか   | 3  | 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアトレではないが、迎えに来た時に親子のふれあいを通して支援をしてきた。</li> <li>・単独通園においてご家族と一緒に児への関わりを持ち必要な支援を共有。</li> <li>・親子通園（未満児）実施</li> </ul> | <p>今年度の評価、反省を踏まえ、懇談会、勉強会の開催を定期的な実施を目指す。</p> <p>・ペアレントトレーニング（協会で認められている）は実施できていない。スタッフで実施資格を有するものがいないため外部支援が今後必要であるとともにスタッフの学びの場も必要。</p> |
|    | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | 7  | 0   |   | 今後も継続する。  |
|    | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 7  | 0   |   | 今後も継続する。  |

|            |    | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標  |
|------------|----|---|----|-----|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | 7  | 0   | ・今後相談を受けるだけではなく定期的な面談の時間とスタッフの確保が必要。              | 今後も継続する。  |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                               | 7  | 0   | ・父母の会は設置未。<br>・保護者会は今年度一回のみ。<br>・親子通園でのおしゃべり会実施。  | 年間計画の中で、保護者会の開催時期の検討立案を行う。<br>活動の中で保護者同士の連携のきっかけを作る。（おしゃべり会の実施など） |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 7  | 0   |   | 今後も継続する。  |
|            | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                           | 7  | 0   |   | 今後も継続する。  |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | 7  | 0   |   | 今後も継続する。  |
|            | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | 7  | 0   |   | 今後も継続する。  |
|            | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   | 0  | 7   |   | 機会を作れないか、継続して検討する。  |
| 非常時等の対応    | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか        | 6  | 1   | ・保護者へのマニュアルの周知はお便り程度で契約時にお伝えしているのみで詳細については未実施になる。 | 今後も継続して周知するとともに、周知の方法について検討する。                                    |
|            | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 7  | 0   |   | 今後も継続する。  |
|            | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | 7  | 0   |   | 今後も継続する。  |
|            | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                                       | 5  | 1   | ・ただし現在必要性のある児は在籍なし。                               | 今後も継続する。  |
|            | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 7  | 0   |   | 今後も継続する。  |
|            | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 7  | 0   |   | 今後も継続する。  |
|            | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか |    |     | ・身体拘束を検討する対象児は今年度いなかった。                           |   |

|  | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標 |
|--|--------|----|-----|---------|------------------------------|
|--|--------|----|-----|---------|------------------------------|

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。